

歴史文化溢れるまちで育った小説の主人公たち。
彼らの足跡をたどる物語探訪に出かけませんか？

松山城南麓に位置し、周囲の環境と調和した、『坂の上の雲』のまちづくりの中核施設。小説の魅力などを伝えるさまざまな展示をしている。施設の設計は「司馬遼太郎記念館」を手がけた日本を代表する建築家・安藤忠雄氏。

🕒 9:00～18:30(入館は18:00まで)
🗓 月曜日
(休日の場合は開館、ほか臨時開館あり)(注)
☎ 089-915-2600

小説『坂の上の雲』の冒頭に描かれている松山城。賤ヶ岳(しずがたけ)七本槍の一人、加藤嘉明が慶長7年(1602)から約四半世紀の歳月をかけて築いた名城。現天守は1854年に再建落成されたもので、現存12天守の一つ。希少な連立式天守の広大な平山城で天守最上階からの眺望は素晴らしい。

🕒 9:00~17:00(入場は16:30まで。季節により変動)
📅 12月第3水曜日(天守のみ)(注)
☎ 089-921-4873

松山藩主の邸宅跡を史跡庭園として整備。古い絵図や発掘調査をもとに植栽や流水を使って間取りを再現しているほか、表御殿跡で見つかった大井戸の遺構も見ることができる。

🕒 9:00~17:00
(入園は16:30まで。季節により変動)
📅 12月第3水曜日(注)
☎ 089-921-2000

小林一茶とも親交のあった俳人、栗田樗堂(ちようどう)の草庵。復元整備を行い史跡庭園として開放されている。

🕒 10:00～18:00 (季節により変動)
🏠 水曜日(祝日の場合はその翌日)、12/28～1/4(注)
☎ 089-915-2204

久松家第15代当主久松定謨(さだこと)の別邸として建築された純フランス風の洋館。木子七郎が設計し、当時としては珍しい本格的鉄筋コンクリート構造の建物。2011年11月29日、国の重要文化財に指定された。

🕒 9:00～18:00
🛑 月曜日(祝日の場合は開館)(注)
☎ 089-921-3711

子規が上京する17歳まで暮らしていた湊町の住居を正宗寺の傍らに復元。室内には子規の遺墨や遺品などが展示されている。また、境内には子規の埋髪塔、正岡家累代(るいだい)の墓がある。

🕒 9:00～17:00(入館は16:40まで)
🛑 無休(注) ☎ 089-945-0400

秋山好古・真之兄弟は、ここ歩行町(かちまち)の下級武士の家に生まれ育った。その素朴を極めた生家に晩年の好古も住んだが、空襲のため焼失。戦後60年、当時の写真等を基に復元され、銅像や資料とともに、兄弟の生涯を偲ぶことができる。

🕒 10:00～17:00(入館は16:40まで)
🏠 月曜日
(祝日の場合はその翌日)(注)
☎ 089-943-2747

中世の伊予国守護大名、河野氏が居城していた城跡。公園として整備され、武家屋敷などが復元されている。

🕒 展示施設 9:00~17:00
📅 月曜日(祝日の場合はその翌日)、
12/29~1/3 (注)
☎ 089-941-1480

約3000年の歴史を持つ日本最古の温泉といわれる道後温泉のシンボル。温泉好きの漱石が通った木造三層楼の本館は、国の重要文化財に指定されている。

🕒 6:00～23:00
※別途、札止め時間有り(注)
🕒 【又新殿観覧】9:00～17:00
☎ 089-921-5141

正岡子規の生涯や業績を紹介する文学系博物館。子規の世界を通して松山の文化や文学にも触れることができる。クイズコーナーなど体験型の展示も充実。案内をしてくれるインストラクター(無料・予約制)がいる。

🕒 5/1～10/31 9:00～18:00
(入館は17:30まで)
11/1～4/30 9:00～17:00
(入館は16:30まで)

📅 火曜日(祝日の場合はその翌日)(注)

☎ 089-931-5566

好古の墓は東京の青山墓地
と両親の墓のある鷺谷墓地
にある。

放浪の俳人・種田山頭火が
晩年に暮らした草庵。

🕒 9:00 ~ 17:00(注)
年末年始を除く土日・祝日に
一般開放(季節により変動)
※外観の見学は自由
☎ 089-948-6891
(市文化財課)

日露戦争時、日本で初めて松山にロシア兵捕虜収容所がつくられた。多いときは4,000人を超える捕虜を収容したが、彼らは比較的自由な生活が許され、市民との交流も多かった。異国の地で生涯を終えたロシア兵捕虜たちを埋葬した墓지는、昭和35年(1960)に今の場所に移された。現在は地域住民や中学生による清掃活動が行われている。

秋山真之

秋山真之銅像

昭和11年、弟の真之と同じ道後公園に建てられた好古の銅像は、昭和18年に撤去供出。昭和45年、梅津寺に再建された。最初の銅像は「騎兵の父」らしく乗馬姿だったが、現在の像は立ち姿となっている。

道後温泉本館と同じく、全国でも珍しい、加温も加水もしていない源泉かけ流しの「美人の湯」。建物のコンセプトは、日本最古といわれる温泉にふさわしい、596年聖徳太子の来湯や661年斉明天皇の行幸などの物語や伝説が残る、飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋。

🕒 6:00~23:00(2階は22:00まで)
※別途、札止め時間有り(注) ☎ 089-932-1126

創建は8世紀といわれ、2体の金剛力士像が安置された国宝の二王門、重要文化財の三重塔・鐘楼など見どころが多い。

※子規記念博物館から
徒歩15～20分。

石手寺三重塔